文化企画のご案内 職員の皆様へ 兵庫県保険医協会尼崎支部

の語

9

JR 伊丹駅東口 : 50

※小雨決行

参加費

職員、患者の方のみの参加も大歓迎!! ○い修称、

子定コー

JR 伊丹駅~有岡城跡~加茂神社~春日神社~松源寺 ク~ JR 伊丹駅にて解散

約6キロ、所要120分ほど (17:00頃解散予定)

希望者で懇親会を行います ※終了後、

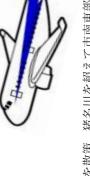
)人参加します FAX 返信: 078-393-1802 クに(秋のウォーク~有岡城跡と 参加お申し込み

代表者ご氏名 医療機関名 FAX

尼崎支部宛

スカイパー

伊丹市文化財ボランティアの会の方による 史跡案内ガイド付









JR伊丹駅を出発して有岡城スカイパークまで足を延ばし日をのんびり過ごしませんか



アロヘカイパー NHK 大河ドウ

◇散策予定の史跡など

TEL:078-393-1805 長澤・荒川・石本・湯浅ま 事務局 お問合わせは、

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュ

360 号 2014年11月5日付

〒 660-0055 尼崎市稲葉元町 2 - 11 - 10 八木クリニック 兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

尼崎社保協 総会

医療・介護大改悪を許さない!

市民と協力して運動を





記念講演の講師を務めた日下部雅喜氏

八木秀満会長が開会挨拶をした

尼崎社会保障推進協議会の2014年定期総会が9月20日(土)に、尼崎中小企業セン ターで開かれ、市民92人が参加した。

八木秀満会長(保険医協会尼崎支部長)は「安倍政権のもとで、医療・介護への攻撃が強 まっている。力を合わせて取り組みを強めよう」と署名の協力と共に訴えた。報告に立った 堤事務局長は「この1年間は県社保協の自治体キャラバンで、尼崎市へ介護保険問題を中心 に申し入れ懇談、リレー座談会は5回開催、街頭宣伝署名も取り組んできた。引き続き全国 の経験に学び、学習し、宣伝、自治体への申し入れをしながら活動をすすめる」と報告した。

記念講演は大阪社保協介護保険対策委員の日下部雅喜氏に「医療・介護総合法の成立でど うなる?介護保険制度」と題して講演いただいた。日下部氏は「今回の法改正で介護保険の 要支援の訪問介護、通所介護の保険はずし、特別養護老人ホームの入所を要介護3以上に限 る、利用料の2割への引き上げなど4つの改悪となっている。この改悪では介護現場や自治 体で大きな影響が出る。要支援1、2に対する介護予防・生活支援を廃止し、地域支援事業 と称して住民の助け合いで担わせようとしている。いま地域でやるべきことは、利用実態や 事例を明らかにし、改定反対など事業所などとも協力し、自治体への働きかけを強めること だ」と訴えました。

社保協としても、幅広い市民と協力して今後の運動について検討する。

尼崎民主市政の会

市民に寄り添うあたたかい市政を

-市長選決起集会に200人超の市民集う-



集会には200人超の市民が駆けつけた

尼崎市長選の投開票を11月16日に控え、支部が幹事団体として加盟する尼崎民主市政をつくる会は、立候補を表明した同会顧問の広瀬幸夫氏を推薦することを決定した。

同会は、稲村市政が県行革に追随して母子家庭の福祉医療を切り捨てるなど、「財政難」を理由に市民要求に背を向ける姿勢を貫いてきたことを批判。 広瀬氏と「こども医療費無料化・中学校完全給食の実現、

国保料引き下げ、公共施設の耐震化、雇用対策、自然エネルギーの利用促進」などを政策の柱とした政策協定を取り交わし、「憲法を暮らしにいかし、市民の暮らしに寄り添うあたたかい市政」をめざしている。

10月21日には、同会による市長選勝利決起集会が尼崎市中小企業センターで開かれ、同会の加盟団体、支援者など200人を超える市民が駆けつけた。登壇した広瀬氏は、「市政は住民の福祉と暮らし、いのちを守る防波堤になるべき。市長は国や県の悪政にきっぱりものを言わなければならない」と強調。「対話と共同をひろげ、安全安心の尼崎をみなさんと一緒につくっていきたい」と支援を訴えると、会場は活気溢れる声援、拍手に包まれた。

広瀬幸夫(ひろせゆきお)

1947 年富山県生まれ。

尼崎民主市政の会顧問、尼崎革新懇世話人、

日本共産党尼崎地区委員長。



支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せ下さい。

TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail naga@doc-net.or.jp 担当;長澤まで



兵庫県保険医協会第 86 回評議員会のご案内 (臨時(決算)総会・第 37 回共済制度委員会)

11月**16**日(日)**13**時**00**分 兵庫県保険医協会会議室

・13:00~ 第86回評議員会…前半期活動報告と後半期の課題

・14:30~ 臨時(決算)総会…決算と監査報告

·14:50~ 第37回共済制度委員会

特別報告「危険水域の日本経済、生保業界の生きる道」

三井生命保険(株)営業推進統括本部 関西ブロック長 久慈宏明氏

・16:00~ 特別講演(会場は兵庫県農業会館へ移動)

「集団的自衛権が許されないわけ」 元内閣法制局長官 阪田雅裕氏

安倍内閣による集団的自衛権行使容認の閣議決定に対し、元内閣法制局長官として立憲 主義を守る立場から批判されている阪田雅裕さんに、日本人が他国の人々と「殺す殺される」 関係にならないよう守ってきた憲法 9 条の意義について講演いただきます。

〈さかた まさひろ〉1943 年生まれ、和歌山県出身。東京大学法学部卒業後、大蔵省へ入省。1981 年内閣法制局第一部参事官に就任。その後、大蔵省大臣官房参事官、内閣法制局第1部長、内閣法制次長などを歴任し、2004 年から内閣法制局長官。2006 年退官し、弁護士登録。アンダーソン・毛利・友常法律事務所顧問就任。また、社会福祉法人全国盲ろう者協会理事長、大阪大学大学院法学研究科客員教授などを兼任する。主な著書に『政府の憲法解釈』(有斐閣、2013 年)、『「法の番人」内閣法制局の矜持』(大月書店、2014 年)など。



「ストップ島著負担増」署名 めざせ!5万筆

受付・待合室に署名用紙を設置し、患者さんに呼びかけてください "保険で良い医療をひろげましょう"

協会では政府が検討課題とする定額受診時負担、漢方薬や湿布薬などの保険外しといった患者負担増計画を許さないために、「新たな患者負担増をやめ、窓口 負担の大幅軽減を求める請願」署名運動を5万筆を目標に取り組んでいます。

会員の先生方におかれましては、受付・待合室に署名用紙を設置のうえ、患者 さんおよびそのご家族にも幅広く協力を呼びかけてください。まずはご自身・ご 家族・職員の方々の署名を協会までご返送いただきますようお願いいたします。

署名用紙の追加をご希望の場合は、協会事務局までご連絡ください。



第 490 回幹事会だより

10月24日(金)於阪神尼崎「鳥光」

○尼崎支部の会員数

10/23 現在 医科 375 人、歯科 148 人

○ 医療をめぐる情勢と運動対策 当面の支部企画、医療情勢などについて意見交換した。

○次回の幹事会

11月21日、阪急武庫之荘「千石寿司」で開催。